

新型コロナウイルス感染 対策に関する代表質問

令和2年第2回（6月）定例会

通告順	会派名等	議席番号	議員名	質問方法	ページ
1	政和会	1 5 番	山中 敏正	複合式	2
2	ともに生きる会	5 番 1 3 番	北村 あやこ 浦田 充	複合式	3
3	新政会	1 1 番 1 2 番	岡安 政彦 相馬 正人	複合式	5
4	日本共産党	1 番	坂本 敏治	複合式	7
5	新風クラブ 2 1	1 7 番	佐藤 洋	複合式	8
6	公明党	8 番	仲又 清美	複合式	9

※ 複合式とは、1回目の質問及び答弁はまとめて行うが、2回目以降は1項目ごとに一問一答で行う。質問時間は答弁も含め40分以内とする。
(質問回数の制限なし)

政和会

15番 山中 敏正 (複合式)

1. 公共施設での対策について
 - (1) 公共施設内での感染予防対策について、伺います。
 - (2) 職員が感染した場合の対応について、伺います。

2. 学校の対応について
 - (1) 自宅待機中の対応について、伺います。
 - (2) 学校再開時の対応について、伺います。

3. 予算執行について
 - (1) 中止・延期した事業について、伺います。
 - (2) 今後の事業の執行について、伺います。

ともに生きる会

5 番 北村 あやこ (複合式)

1 3 番 浦田 充 (複合式)

緊急事態宣言が出されて以降、弱い立場の障がい者などへの支援に関する情報がほとんどない。感染拡大の中で、密が避けられないヘルパーによる介護サービスについて不安が募るばかりであった。通所施設の閉鎖や事業所にヘルパー派遣を断られる可能性がある。

実際、視覚障がい者がガイドヘルパーの活動自粛で外出困難になっているとの報道もある。桶川市内でも同じような事態にならないか。このような場合にどのように生活支援するのか、利用者の元に情報が入ってこない。

また、市内でも医療ケアの必要な方のご家族からは、消毒用アルコール不足への不安の声も聞く。しかし、必要な方が優先的に購入できる体制になっていない。

弱い立場の市民が置き去りにされているということを改めて知り、早急な対応を求めたい。

1. 障がい児・障がい者支援について

- (1) 休校や通所サービスの休止、通所に不安があり自宅にとどまっている障がいのある人や子どもたちと家族について、市内の状況をどう把握したか、その状況の報告をいただきたい。
- (2) 介護の負担軽減のために、どのような配慮・対応をとったか。
- (3) 移動支援や同行援護などのサービスを休止している（休止した）事業所があるのか。そのような場合に、どのような生活支援を行っている（行う）のか。

2. 市内の医療施設について

- (1) 医療ケアの必要な方へのアルコール、マスク、手袋などの物資の供給不足や施設の利用状況について、医療や介護施設の状況の把握を行っているか。リストを提出していただきたい。
- (2) 支援は十分に行っているのか。

3. 市民への対応について

- (1) 福祉担当者と必要な相談やサービス申請の聞き取りなど、密を避けるための方策は取られていると思うが、オンラインによる方法も実施すべき。現状と方向性を伺う。

4. 高齢者、生活困窮者への相談・対応について

- (1) 自粛による高齢者サービスの影響を受けた高齢者の人数、内訳を資料にて提出していただき、そのリスクと対応を伺う。
- (2) 事業の継続、生活相談の状況と対応を資料にて説明願いたい。

新政会

1 1 番 岡安 政彦 (複合式)

1 2 番 相馬 正人 (複合式)

1. 特別定額給付金について

(1) 申請書の配達状況

- ① 対象数・配達数・住所不明のため戻ってきた数
- ② 転送設定されている住所の扱い

(2) 申請状況

- ① インターネットでの申請数、郵送での申請数
- ② DVやそれ以外での別居者への対応

(3) 仕事や入院など長期不在者への対応

- ① 一人暮らしで自宅に戻れない方
- ② 申請期日を過ぎてしまった場合は。

2. 布マスクの全戸配布について

(1) 布マスクの配布状況

- ① 住民基本台帳と配布先の違い
- ② 二世帯住宅への対応(ポストが2つ設置されている)

(2) 有効活用

- ① 不要者への対応
- ② 回収ボックスの設置

3. 避難所開設にあたり新型コロナウイルス感染拡大防止について

(1) 新型コロナウイルス感染の蔓延の中で水害・地震などの大規模災害が発生した時の、避難所開設の運営について

- ① 避難所開設の受け入れ態勢について伺う。
- ② 感染につながるような人がいた場合の対応について伺う。
- ③ 避難所内での3密を避けるための対策について伺う。
- ④ 事前に避難所開設の注意事項などのお知らせについて伺う。

4. 市の独自支援について

(1) 子ども・子育て・商店に対する支援策は、反対すべきものではないが、

その他の人たちの対策について

- ① 中間層のしっかりと納税されている独身者・学生・一人暮らし・高齢者の皆さんに対する支援策などについて伺う。

日本共産党

1 番 坂本 敏治 (複合式)

1. 新型コロナウイルス対策について

(1) この間の市の対応について伺います。

- ① 民間の介護施設や福祉施設、医療機関は外出自粛の影響で利用者減少があるようですが、事業継続に向けての市に対しての支援要望はありませんか。
- ② 新型コロナウイルス感染拡大の中で、開所となった保育所、開室時間の変更も伴って開室した放課後児童クラブ等への人的配慮はどのようにされましたか。

(2) 今後の市民生活支援策について伺います。

- ① 感染症拡大防止の取組は長期化が予測されます。今後の市民生活支援策を検討する上で、どのようなことを優先・重点としていくのかについて市の考えを伺います。
- ② 「新しい生活様式」に対応した中小事業店・事業所の事業持続には各種の工夫や財政的負担が伴います。市内の産業振興の上で支援策の検討も必要と思うが、市の考えを伺います。
- ③ 介護・福祉を支える事業所、市民の健康の担い手である医療機関の減収や新型コロナウイルス感染防止への新たな取組に対して支援が必要と思うが、市の考えを伺います。

(3) 公共施設の利用再開と感染防止対策について伺います。

- ① 公共施設利用にあたって、市民の協力を要請することが増えると思いますが、どのようなことが考えられるかを伺います。
- ② 再度の感染拡大が発生した場合、公共施設の規模・形状・役割で臨時休館の有無などを検討することが必要と思うが、市の考えを伺います。

(4) 学校教育の課題について伺う。

- ① 過去に例がない3月～5月の長期休業となったことで、児童・生徒の生活や学習に大きな影響が出ています。学校再開にあたって、どのような方針で進めていくかについて伺います。

新風クラブ 21

17番 佐藤 洋 (複合式)

1. コロナ問題に対する市長の考え方

- (1) 対策会議の設置と施策の考え方について
 - ① 全体を通してどのような視点で施策を確立していったか。
 - ② 弱い立場に立つ市民に何をもって応えたか。
 - ③ 市長としてその集約について何を参考にしたか。
 - ④ 事業について、庁議・対策会議・各部・各課の意見集約をどのように指揮したか。

2. コロナ対策

- (1) 10万円給付金について、その内容と経過
- (2) 桶川市小規模事業者等支援給付金について、その内容と経過
- (3) 小売店等支援ドライブスルー・マルシェ事業について、その内容と経過
- (4) 学校給食食材活用事業について、その内容と経過
- (5) 児童生徒の家庭学習・読書応援事業について、その内容と経過
- (6) 保育園・放課後児童クラブの基本的対応について
- (7) 公共施設の休館に伴い、指定管理料(委託費)等に変化はあったか。
- (8) 学校で、ノートパソコンの配付は検討したか。
- (9) デイサービス等中止になった事例は。

3. 今後のコロナ対策

- (1) 第二弾は。
- (2) 令和2年度の税の見直し。
- (3) 令和2年度の事業の見直し。

4. ピンチをチャンスに

- (1) 地方自治の発展こそが国の未来を切り拓く。
 - ① リーダーシップと職員参加
 - ② リーダーの哲学と市・役・所の本領発揮

公明党

8番 仲又 清美 (複合式)

1. 新型コロナウイルス感染拡大予防に関する本市の対策について

(1) 市民生活における新型コロナウイルス感染予防について

品薄のマスクが店頭で並ぶようになったが、50枚3,000円前後の高騰ぶり、ネット販売等も品質が心配との声もある。今後、市民がマスクを安心して手に入れられるよう本市の対策を伺います。

① 全世帯向けに不織布マスクを適正な価格で買える購入券などを配布する他市の事例があるが本市のマスクの配布や購入等の方向性について

(2) 医療・介護・障害福祉施設及び従事者への支援について

最前線で戦う医療従事者や重症化しやすい高齢者・障害者へ献身的な介護等の従事者へ感謝の気持ちを表す「新型コロナ医療・介護応援寄附金制度」等を、創設する自治体があるので伺います。

① 寄附金制度の創設等、今後の医療関係者等への支援について

(3) 新しい生活様式の子育て支援について

白岡市では、休館中の児童館の利用者向けにオンラインで事業を行っている。本市の今後の取組について伺います。

① 児童館等、子育て支援機関の体制について

② 埼玉県内の助産師の有志が独自でオンライン母親学級等を開始した。本市の産後ケアの方向性について

2. コロナ禍における経済的支援について

(1) 市民生活への経済的支援について

コロナ禍による新たな生活様式の長期化への追加の支援について伺います。

① ひとり親世帯等への追加の支援について

② 伊奈町は、水道料金の助成を行うが本市の経済的支援の方向性について

③ 観光協会が中心となり市内の飲食店等のテイクアウトを支援するドライブスルー方式が始まったが、子どもや高齢者など安価なお弁当などの販売の方向性について

(2) 事業系支援について

本市は、国の持続化交付金の減収の対象に満たない小規模事業者への支援を開始した。しかし、国と同様に昨年度の同月の売上げとの比率を基準としているため、同時期に産休で休業していたフリーランスや今年起業した事業者は、所得の減少を証明できない。市は、昨年比ではなく緊急事態宣言発令の直近の売上げとの比較で判断できないのか。上尾市は、中・小規模事業者に一律5万円の支援金を出している。本市の救済支援さえも受けられない事業者への対応について伺います。

- ① どの制度にも当たらない小規模事業者への救済支援について
- ② 新規にテイクアウト、デリバリー事業を始めた飲食店への追加支援について
- ③ 連日、緊張感を持って、ごみの収集等、清掃作業の皆様には、心から感謝申し上げます。ごみの増加等、ガソリン代等が負担増となり業務への影響があった場合の清掃関係者への支援について

3. コロナ禍における学校教育の現況と今後の課題について

(1) 長期休業となった児童・生徒、保護者への配慮について

新型コロナウイルス感染拡大による教育現場は、まさかの長期休業となりました。オリンピックの延期や戦後初と言われる第102回全国高校野球選手権大会の中止等、子どもたちの夢や希望をコロナ禍で失わせたくない。長期休業の影響を受けた児童・生徒、保護者への配慮について伺います。

- ① 休業中の学校と家庭との連携について
- ② 国の補正予算でオンライン学習環境整備やGIGAスクールを推進するための技術者を配置する経費負担等が予算計上された。本市も各家庭のネット環境についてアンケート調査を行った結果とオンライン学習の方向性について

(2) 学校再開による教育環境について

学校再開に際し、教職員の皆様には、かつてない環境下での教育のあり方に苦慮するところと察しますが、今後、安心して授業が受けられる体制について伺います。

- ① 学校環境の感染予防について
- ② 新小・中学1年生の学習や精神面の配慮について
- ③ 中学3年生（受験生）の学習面や精神面の配慮について
- ④ 休業中の児童・生徒の学習面や体力の差が生じることを危惧する。国の補正予算の学習指導員の追加配置に関する補助金が示されたこと

への本市の方向性について

⑤ 夏季休業の短縮で熱中症対策による体育館の空調設備について

4. コロナと戦う市民生活の安心と負担軽減のため今後の予算の方向性について

(1) コロナの影響で未執行となった事業の組替え等、今後の予算編成について

緊急事態宣言が解除され新たな生活様式による景気回復への支援について伺います。

① 地域経済の回復のため地域振興券などの支援について（副市長に伺う）

② 市民生活の安心と負担軽減のため第2弾、第3弾と適材適所の予算編成が必要となる。そこで、国のコロナ対策等の補正予算も示され、迅速な予算への組替え等、コロナ禍と戦う予算の反映にリーダーシップを執る市長のお考えについて